

4 - 1 河川の健康項目の環境保全目標超過状況(超過地点)

(平成15年度)

項目	河川名	測定地点名	最大値 (mg/L)	年平均値 (mg/L)	m / n	環境保全目標 値 (mg/L)	
ジクロロメタン	平野川	東竹淵橋	0.20	0.046	2 / 6	0.02	
ほう素	淀川下流(2)	伝法大橋	3.0	1.7	1 / 2	1	
		左門殿川	辰巳橋	1.9	1.2		2 / 6
		安治川	天保山渡	1.7	1.4		1 / 2
		正蓮寺川	北港大橋下流700m	1.3	1.2		1 / 2
		木津川運河	船町渡	1.2	1.2		2 / 2
		内川放水路	古川橋	2.0	1.9		2 / 2
		内川	豎川橋	3.0	2.9		2 / 2
		王子川	王子川橋	1.2	1.1		1 / 2
ふっ素	大正川	平野川合流直前	2.9	1.1	2 / 6	0.8	
		内川	豎川橋	0.98	0.96		2 / 2

(注) m/nのnは調査対象検体数、mは目標を超えた検体数を表します。

府内の104河川144地点においてアルキル水銀を除く健康項目について年1回以上測定しています。環境保全目標(環境基準)は、全シアン及び総水銀以外は年平均値で判断し、全シアンは最大値で判断します。水銀についての適否の判定は、年間の測定値が0.0005mg/Lを超える検体数が調査対象検体数の37%以上である場合を不適とします(昭和49年12月23日付け環水管第182号)。

アルキル水銀については、原則として総水銀が検出された場合のみ測定を行っているため、平成15年度は測定を行っておりません。

ほう素及びふっ素が環境保全目標を超えた要因としては、主に海水の影響が考えられます。